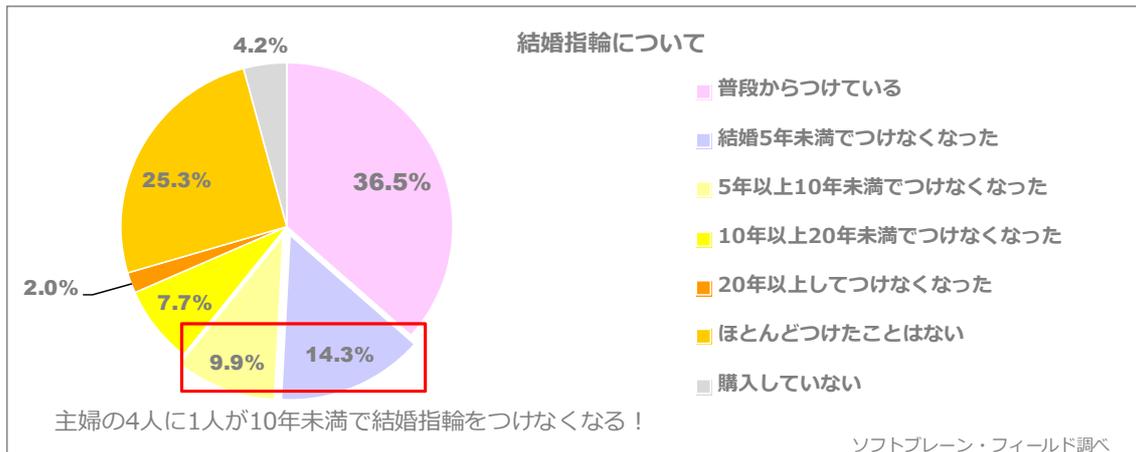


普段から結婚指輪をつけている主婦は3人に1人！
4人に1人が結婚10年でつけなくなる！
 ～既婚女性の聞いた夫婦関係の実態調査～

フィールドマーケティング支援サービスを提供するソフトブレイン・フィールド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木名瀬博）では、「夫婦関係」についてのアンケートを2015年10月16日～10月22日に実施しましたので、その結果を報告します。アンケートの対象は、30代～40代の主婦を中心とする当社サービス登録の既婚女性会員で、有効回答者数は545名（平均年齢45歳）でした。

【調査結果】

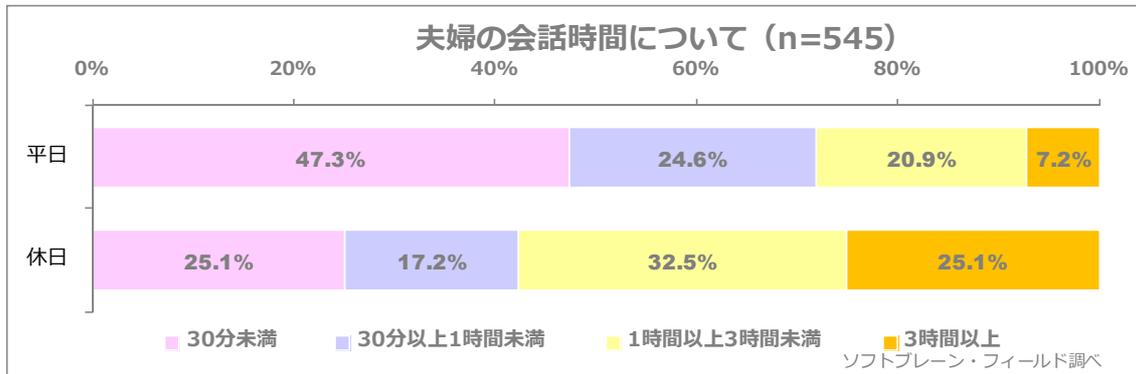
(1) 結婚指輪について



図表 1: 結婚指輪について (n=545)

夫婦関係を聞くにあたって、アンケートではまず、日本ではまだ50年程度と比較的歴史が浅いものの、結婚時に購入するアイテムとして広く浸透している結婚指輪について、普段もつけているかについて聞きました。その結果、36.5%が「普段からつけている」と回答しました。残りは、「結婚5年未満で普段からつけなくなった」が14.3%、「5年以上10年未満でつけなくなった」が9.9%、「10年以上20年未満でつけなくなった」が7.7%、「20年以上してつけなくなった」が2.0%、「ほとんどつけたことはない」が25.3%、「購入していない」が4.2%でした。

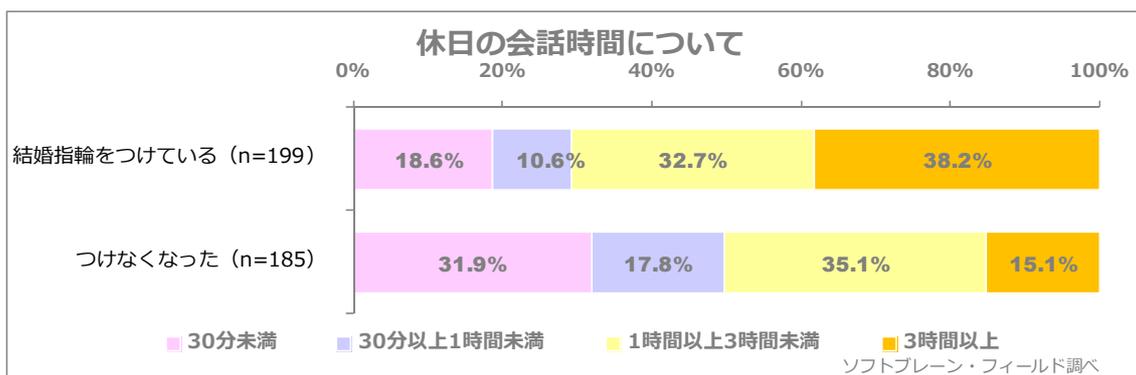
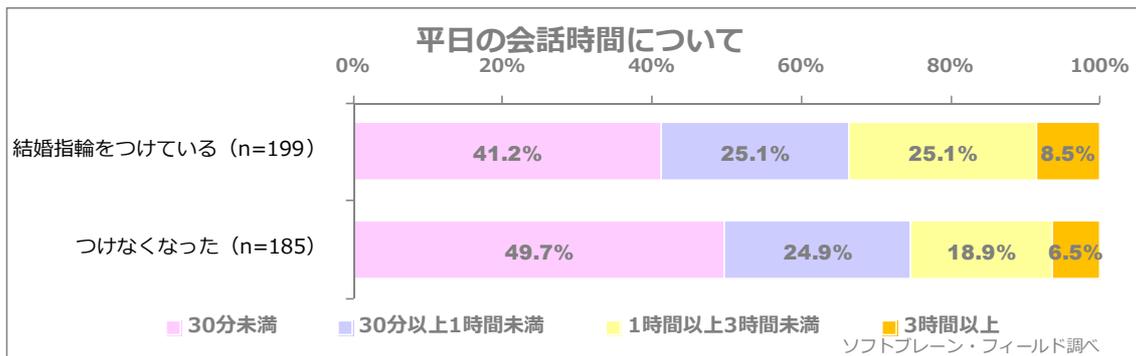
(2) 夫婦の会話時間について



図表 2: 夫婦の会話時間について (n=545)

アンケートでは、さらに平日と休日の夫婦の会話時間を聞きましたが、平日では 47.3% が「30 分未満」、24.6% が「30 分以上 1 時間未満」、20.9% が「1 時間以上 3 時間未満」、7.2% が「3 時間以上」となりました。

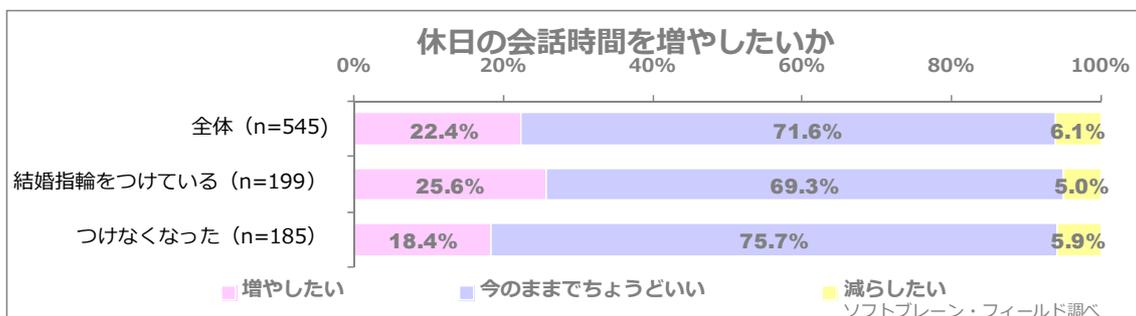
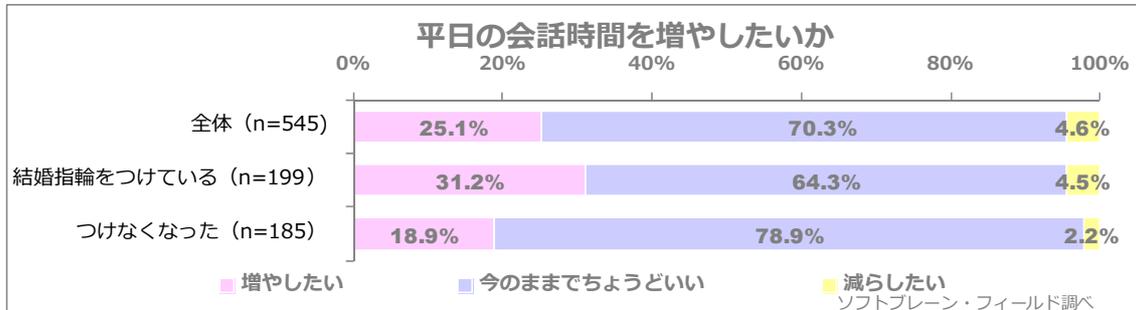
一方、休日は 25.1% が「30 分未満」、17.2% が「30 分以上 1 時間未満」、32.5% が「1 時間以上 3 時間未満」、25.1% が「3 時間以上」となり、平日はなかなかまとまった時間は取れないが、休日に夫婦の会話時間を長く取っている様子が見られました。



(上) 図表 3: 平日の会話時間について【結婚指輪の有無別】(n=384)、(下) 図表 4: 休日の会話時間について【結婚指輪の有無別】(n=384)

また、平日と休日の夫婦の会話時間について「結婚指輪をつけている方」と「結婚指輪を最初はつけていたが、つけなくなった方」に分けてみると、平日・休日ともに結婚指輪をつけている場合の方が、会話時間が長くなる傾向が見られました。特に休日は、結婚指

輪をつけている方の場合、会話時間が「1時間以上」が7割を超えるのに対し、つけなくなった方の場合は休日でも「1時間以上」は5割にとどまりました。



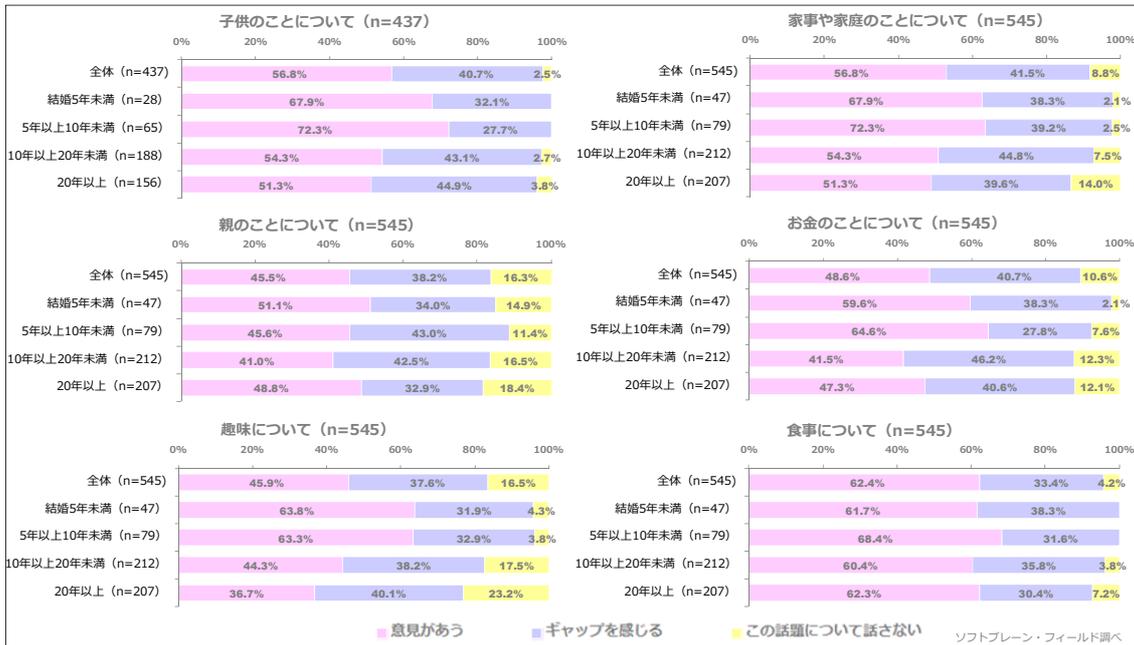
(上) 図表 5: 平日の会話時間を増やしたいか (n=545)、(下) 図表 6: 休日の会話時間を増やしたいか (n=545)

アンケートでは夫婦の会話時間を増やしたいかについても聞きましたが、平日の会話時間を「増やしたい」と回答したのは全体では25.1%、休日の会話時間については全体では22.4%でした。

また結婚指輪をつけている方とつけなくなった方に分けて見ると、結婚指輪をつけている方の31.2%が平日の会話時間を「増やしたい」と答えたのに対し、つけなくなった方は18.9%にとどまりました。

休日についても同様の傾向で結婚指輪をつけている方の25.8%が休日の会話時間を「増やしたい」と答えたのに対し、つけなくなった方は18.4%でした。

(3) 会話の内容について



図表 7: 会話の内容について (n=545、子供のことについてのみ n=437)

夫婦での会話内容について、意見があると思うかとの質問については「子供のこと」については56.8%が、「家事や家庭のこと」については56.8%が合うと回答。一方、「親のこと」について意見が合うと回答したのは45.5%、「お金のこと」については48.6%、「趣味」については45.9%とそれぞれ半数未満でした。

全体としては結婚歴が長くなるほど、「ギャップを感じる」との答えが増える傾向でしたが、「親のこと」や「お金のこと」については、結婚歴が「10年以上20年未満」の方より、「20年以上」の方が意見があると考えており、この2つの話題については夫婦で過ごす中で途中ギャップを感じることはあるが最終的にはお互いの意見があっていく様子が見られました。

ちなみに最も意見があるという回答が多かった項目が「食事」についてで62.4%でした。食事については結婚歴の長さに関係なく6割以上の方が意見があるという回答しており、「食事」についての考え方があっていることが夫婦円満にとって重要な要素と言えるかもしれません。

夫婦のコミュニケーションについての具体的なコメントを見ると、「何か相談したときに基本的に意見を言うのではなく、同意してほしいと思います。」(30代以下)、「相談したり、話したりしたことで、結論よりは、話を聞いて欲しい。」(50代以上)というように配偶者の言葉に「イラッとしてしまう」エピソードもありましたが、「言葉で愛情表現が無いので、もっと言葉で色々伝えて欲しい。」(30代以下)、「感謝の言葉は、ちゃんと口に出して伝えて欲しい。」(40代)、「いつもありがとうございますと言われたいです。言わなくてもわかっているでしょと言うけれど、そういう問題ではないと思います。」(40代)といったように態度だけではなく、感謝やねぎらいを言葉で言って欲しいという意見が多数寄せられました。

【調査実施概要】

対象：当社登録の会員

調査方法：当社リサーチサイト「リサれば！」を活用したインターネットリサーチ

調査地域：全国

調査期間：2015年10月16日～10月22日（7日間）

有効回答者数：545名

回答者（既婚女性）の属性：30代以下26%、40代45%、50代以上30%

配偶者の属性：30代以下21%、40代41%、50代以上38%

【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社（市場名：東証1部・4779、本社：東京都中央区、設立年月日：1992年6月17日、代表取締役社長：豊田浩文）のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約53,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など115,000店舗以上をカバーし、営業支援（ラウンダー）や市場調査（ミステリーショッパー、店頭調査など）を実施しています。

当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。

「木名瀬 博のフィールド虎の巻」（URL：<http://www.sbfield.co.jp/column/>）

本社所在地：東京都港区赤坂3-5-2 サンヨー赤坂ビル5階

設立：2004年7月

資本金：151,499,329円

代表取締役社長：木名瀬 博

URL：<http://www.sbfield.co.jp/>

【会員登録について】

・パソコン用登録 URL：<https://www.sbfield.co.jp/pc/>

・携帯用登録 URL：<https://www.sbfield.co.jp/m/>

会員登録いただくと、当社からお仕事情報を配信いたします。スーパーマーケットやドラッグストアなどの量販店、公共施設や遊戯施設、専門サービスを提供する全国チェーンのお店から飲食店まで、あなたの生活圏がそのままお仕事のフィールドとなります。

【報道関係お問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

広報室 柳原（やなぎはら）/具志堅（ぐしけん）/矢治（やじ）

TEL：03-6328-3630 FAX：03-6328-3631

MAIL：solution@sbfield.com